

平成19年度 第1回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成19年6月8日（金） 午後2時00分～午後3時40分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 23名（代理1名含む）

欠席委員数 6名

事務局 12名

【1】次第

- 1 開会
- 2 花見川区長挨拶
- 3 事務局紹介
- 4 会議の公開等について
- 5 議題（1）委員長・副委員長の選任について
（2）今後のスケジュールについて
（3）地域福祉パイロット事業に係る申請内容への参考意見について
（4）その他
- 6 閉会

【2】議事要旨

委員定数29名のうち、23名出席、6名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、区長の挨拶、配布資料の確認、事務局職員紹介を行った。

議題に入る前に事務局から会議の公開について説明し、採決をとったところ賛成多数で会議の公開が認められた。

議題（1）

委員長・副委員長の選任について

設置要綱第6条第1項に基づき、委員長が議長になることを確認した。続いて設置要綱第5条第1項及び第2項に基づき、委員長、副委員長が決まるまでの間、藤井所長が仮議長に就任することが承認された。

藤井仮議長：委員長について自薦他薦を募りたい。

委員：昨年度の片桐委員長と原田副委員長に留任してもらいたい。

藤井仮議長が片桐委員を委員長、原田委員を副委員長として諮ったところ賛成多数、異議無くこれを可決承認した。藤井仮議長は仮議長の職を退いた。

休憩 5分

議題（２）

今後のスケジュールについて

委員長、副委員長の就任挨拶後、事務局から今後のスケジュールについて説明した。

事務局：今後のスケジュールは、資料の今後のスケジュール予定にあるような形で４回の開催を考えているが、内容のご協議をお願いしたい。

委員：予定にある活動実践者による報告についてはどういう形で行うか案があれば教えていただきたい。

事務局：委員の中の各自治会関係者の方々や社協地区部会、ボランティアの方々など、地域の実情にあわせた活動事例を収集したい。

委員：NPOなどの活動も収集するのか。

事務局：NPOなどの情報も現在収集しているところである。

議題（３）

地域福祉パイロット事業に係る申請内容への参考意見について

事務局から地域福祉パイロット事業について申請受理している６事業について説明した。説明後、意見具申が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

<意見具申・質疑応答>

副委員長：検見川地区部会の活動は、敬老の日だが、敬老会と重なっていないのか。

委員：敬老会は別の日に行く。

副委員長：パイロット事業を申請している地区部会は、来年以降も継続するつもりがあるのか。

委員：検見川は継続していくつもりである。

副委員長：検見川地区部会以外も来年度以降継続するということによろしいか。

５ 委員：継続する。

委員：自分たちの間で地域福祉の利便性を高めるだけで終わっているように思える。支える方の活動がないようなものでもない。

地域福祉の活動はたくさんあるが、パイロット事業として出てこない仕組みになっているように思える。

委員：今回パイロット事業出さなかったが、県養護学校を母体にして行うと思ったが、今回は予算の関係で断念した。

副委員長：そのようなことはない。もしやりたい活動があればパイロット事業として提出すればいい。制限しているわけではない。

委員：本年度市全体でのパイロット事業予算を知りたい。

事務局：前年度は６００万円だったが、今年度は３００万円の予算がついている。予算以上の申請があった場合は、審査会で否決になる事業もある。

副委員長：２０年度はパイロット事業の予算がない予定なので、自分達の予算で事業継続していく考えでいいのか。

事務局：２０年度のパイロット事業予算があるとは限らないので、地区部会の予算で事業実施してもらうことになる。

委員：花園地区部会では、スタッフの高齢化進んでいるので、新しい人たちに入ってもらいきっかけづくりをどうしていくかが一番問題になっている。

委員：各パイロット事業に事務局が説明した内容とは違う次元で各委員に独自の説明を伺いたい。

委員：時間がかかるし、もし聞きたいことがあれば具体的に質問してもらったほうがいい。

委員：パイロット事業提出の段階で事務局と打合せしているので、事務局からの説明が全てである。

委員：立案者に説明してもらい、委員の方々に理解してもらうのが基本的な姿勢だと思ったが結構です。

委員長：事務局には、申請されたパイロット事業が全て通るようにしてもらいたい。

委員：今回申請しなかった地区部会はパイロット事業のような事業がなかったのか。地域福祉の推進はしていないということか。

事務局：パイロット事業は申請していないだけで、いきいきサロンなどの地域福祉活動は各々の地区部会で推進している。

議題（４）

その他

保健福祉総務課から地域福祉活動事例集の作成に伴う編集協力者の募集について、以下のとおり説明した。

町内自治会、社協地区部会、老人クラブ、民生委員・児童委員、NPO、ボランティア、社会福祉事業者等、地域福祉活動に取り組んでいる好事例をまとめた『地域福祉活動事例集（仮称）』を作成予定。

掲載内容は、福祉活動のお手本となる好事例を各区概ね２件程度選定し、活動のきっかけ、概要、問題点、感想等を掲載する予定である。

編集協力者については、各区１名程度の募集を予定している。保健福祉総務課、区サービス課、社会福祉協議会区事務所と協力し企画・取材・編集・原稿作成のお手伝いをお願いしたい。

事例は区地域福祉計画書その他、区推進協、社協区事務所の推薦や地域の方々からも募集する。

募集の方法は、地域福祉活動事例の募集のチラシ、裏面の応募用紙を福祉サービス課や社協に配布している。

事例集の作成は、１５００部を予定し、推進協や公共施設などに配布する。

事例集は年度ごとに更新し作成する。

編集協力者には、8月から第一回編集打合せから参加してもらい、1月下旬に完成予定。編集協力者の募集人員は、各区1名 報酬、交通費の支給はなし。

委員：取上げて欲しい事例があるので提出したい。

保健福祉総務課から出前講座の活用について以下のとおり説明した。

今年度も出前講座を活用してもらい地域福祉計画の広報PRを行いたい。

保健福祉局の「共に支えあう助け合う街づくりの取り組み」というタイトルで行っている

委員長：出前講座は内容が良いものが揃っているので活用してほしい。

委員：出前講座は、団体でも依頼できるのか。

事務局：団体でも20名以上という原則はあるが、地域福祉計画については10名に足らなくても声を掛けて欲しい。

その他として以下の質疑応答があった。

委員：次回の区推進協の開催通知は1ヶ月前にはお願いしたい。

委員：本日この場で9月の日程を決めてもいいのではないか。

事務局：今回は、委員の推薦の関係があって遅れてしまったが、次回からは1ヶ月前には通知したい。会場確保の関係でこの場で日程を決めるのは難しい。原則金曜日の14時からで考えている。

副委員長：編集協力者の1名が出てこなかった場合はどうなるのか。

事務局：1週間待つが出てこなかった場合は、委員長か副委員長にお願いしたい。

事務局：会議内容は、議事要旨を後日お送りする。次回の通知もできるだけ早めに出したい。

最後に片桐委員長から閉会挨拶をし、午後3時40分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。